SII

取扱説明書

サーマルプリンタ

MPU-L465

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。
お読みになった後も必要なときすぐ見られるよう、大切に保管してください。

セイコーインスツル株式会社

U00118476000 2010年 8月
U00118476001 2011年 4月
U00118476002 2011年10月
U00129682100 2013年 1月

©セイコーインスツル株式会社 2010-2013
無断転載を禁じます。
本書の内容は、断りなく変更することがあります。
SII は セイコーインスツル株式会社の登録商標です。
Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
本装置を運用した結果の影響による損失については、
当社は一切の責任を負いかねます。

本製品は、産業機器用途の製品として開発されています。

本製品は、VCCI クラスB に適合しています。

本製品は、RoHS 指令 (2011/65/EU) に適合しております。

本製品のうち、Bluetooth 搭載モデルは電波法に基づく特定無線設備・工事設計認証(認証番号：001NYCA1392)を受けた特定無線設備を内蔵しております。

はじめに

このたびは、MPU-L465 サーマルプリンタをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書では、MPU-L465 サーマルプリンタ（以後、プリンタと呼びます）や指定 AC アダプタ、指定充電器、指定バッテリパック、指定 AC ケーブルなどのオプション製品の取り扱い方法について、説明しています。

ご使用の前に、必ず**「安全上の注意」「お取り扱い上の注意」**をよくお読みの上、プリンタを安全に正しくお取り扱いください。

この取扱説明書は、お読みになった後も、必要なときにすぐに見られるよう、大切に保管してください。

プリンタの詳細な機能や仕様については、**「MPU-L465 サーマルプリンタ技術説明書」**をご覧ください。

この取扱説明書の構成は次のようになっています。

安全上の注意 2
お取り扱い上の注意 10
1 準備 13
2 各部の名称 14
3 電源の接続方法 17
4 用紙のセット方法 20
5 ベルトクリップ／ストラップの着脱方法 24
6 テスト印字 25
7 機能設定 26
8 ホスト装置と接続する 32
9 バッテリパックを充電する 34
10 ヘッド／プラテンローラのメンテナンス 37
11 困ったときに 38
12 仕様 39
13 オプション、消耗品構成 41

安全上の注意

本書では、本装置を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意事項を喚起しています。

これらの記号表示の意味は次のとおりです。内容をよく理解して、これらの記号が表示されているところの記載事項については、必ずお守りください。

⚠警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

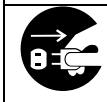
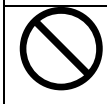
	△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 左の表示例は**「警告または注意事項」**があることを表しています。
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左の表示例は**「分解禁止」**を表しています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。 左の表示例は**「電源プラグをコンセントから抜く」**ことを表しています。

■プリンタ本体

⚠警告

	プリンタが次のような場合は、電源を切り、AC プラグをコンセントから抜いて、さらにバッテリパックをプリンタから外してください。 ◆ 異常状態から回復できないとき ◆ 異臭がする、煙が出た、または異常音が発生したとき ◆ 内部や隙間に、金属片や水などの異物が入ったとき ◆ ケースが壊れたとき 火災や感電の原因になります。販売元に修理をご依頼ください。
	プリンタの開口部から、金属片や水などの異物をいれないでください。 火災や感電の原因になります。
	プリンタを分解したり、改造したりしないでください。また、ご自分で修理したりしないでください。 火災、事故や故障の原因になります。
	プリンタには、専用の AC アダプタ、バッテリパック以外は使用しないでください。 破裂・発火・発熱のおそれがあり、火災や事故の原因になります。
	プリンタにバッテリパックを着脱するときは、電源を切ってください。 感電の原因になります。

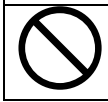
⚠注意

	プリンタを長期間使用しない場合は、電源を切り、AC プラグをコンセントから抜いて、さらにバッテリパックをプリンタから外してください。 火災や感電の原因になります。
	プリンタのお手入れの際は、電源を切り、AC プラグをコンセントから抜いて、さらにバッテリパックをプリンタから外してください。 火災や感電の原因になります。
	プリンタは乳幼児の手の届かないところに置いてください。 ケガなどの原因になります。
	プリンタを直射日光の当たる場所、高温になる場所に置かないでください。 火災や故障の原因になります。
	プリンタを湿気や埃の多い場所に置かないでください。 火災や故障の原因になります。

	プリンタを使用中は、その上に布などをかぶせないでください。 火災や故障の原因になります。
	プリンタを振動の激しい場所、ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定なところに置かないでください。 落ちたりして、ケガや故障の原因になります。
	印字直後は、サーマルヘッド部が高温になっていることがありますので、絶対に触らないでください。紙詰まり除去やヘッドクリーニングは、サーマルヘッドが冷えていることを確認してから行ってください。 ケガの原因になります。
	紙挿入性向上から、サーマルヘッド、ペーパーセンサやプラテンローラなどが直接手で触れられる構造になっています。これらに直接手を触れないようにご注意ください。 ケガや故障の原因となります。
	カッターに直接手を触れないようにご注意ください。 ケガの原因となります。
	プリンタにバッテリパックを装着する際に、バッテリカバーをしっかり装着・固定してください。 バッテリカバーがめくれバッテリが飛び出したりして、ケガや故障の原因になります。
	プリンタの動作中に髪の毛等の巻き込まれやすいものをプリンタに近づけないでください。 プリンタ内部に引き込まれ、ケガの原因となります。

■AC アダプタをご使用になられる場合

⚠警告

	AC アダプタが次のような場合は、AC ケーブルの AC プラグをコンセントから抜いてください。 ◆ 異臭がする、煙が出た、異常に熱いなど通常と異なるとき ◆ ケースが壊れたとき 火災や感電の原因になります。販売元に修理をご依頼ください。
	AC アダプタを分解したり、改造しないでください。 火災、事故や故障の原因になります。
	AC アダプタには、専用の AC ケーブル以外は使用しないでください。 火災、事故や故障の原因になります。
	AC アダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。 火災、事故や故障の原因になります。

	AC アダプタやコネクタの金属部に触れたり、絶対にショートさせないでください。 火災、事故や故障の原因になります。
	AC アダプタを水分のかかる可能性のある場所に置いたりして濡らさないでください。 火災、事故や故障の原因になります。

⚠注意

	AC アダプタのお手入れの際は、AC プラグをコンセントから抜いてください。 感電の原因になります。
	AC アダプタは乳幼児の手の届かないところに置いてください。 ケガなどの原因になります。
	AC アダプタを直射日光の当たる場所、高温になる場所に置かないでください。 火災や故障の原因になります。
	AC アダプタを湿気や埃の多い場所に置かないでください。 火災や故障の原因になります。
	AC アダプタを濡れた手で触れないでください。 感電の原因になります。
	AC アダプタを使用中は、その上に布などをかぶせないでください。 火災や故障の原因になります。
	AC アダプタを振動の激しい場所、ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定なところに置かないでください。 落ちたりして、ケガや故障の原因になります。

■バッテリパックをご使用になられる場合

⚠警告

	バッテリパックが次のような場合、プリンタから取り外し、使用を中止するとともに、火気に近づけないでください。 ◆ 異臭がする、煙が出た、異常に熱いなど通常と異なるとき ◆ ケースが壊れたとき ◆ 液が漏れてきたとき 漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。
	バッテリパックは絶対に分解・改造・ハンダ付けしないでください。 漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。
	バッテリパックを専用の充電器以外で充電しないでください。 漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。
	バッテリパックの端子に触れたり、絶対にショートさせないでください。 発熱、発火または感電するなどして、火災やケガの原因になります。
	バッテリパックを火の中へ投げ入れたり、加熱したりしないでください。 漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。
	バッテリパックを炎天下や火のそばなど、高温の場所（40℃以上）で充電しないでください。 漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。
	バッテリパックをハンマーで叩く、釘で刺す、押しつぶすなど強い衝撃を与えないでください。 漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。
	バッテリパックを水の中に入れたり、水分のかかる可能性のある場所に置いたりして濡らさないでください。 漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。

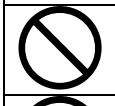
⚠注意

	バッテリパックから出てきた液が目に入った場合は、直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。 失明の原因になります。
	バッテリパックは乳幼児の手の届かないところに置いてください。 ケガなどの原因になります。

	バッテリパックを車中などの直射日光の当たる場所、高温になる場所には放置しないでください。 漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。
	バッテリパックは湿気や埃の多い場所で使用または保管しないでください。 漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。
	バッテリパックを濡れた手で触れないでください。 感電、故障の原因になります。
	バッテリパックを振動の激しい場所、ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定なところに置かないでください。 落ちたりして、ケガや故障の原因になります。

■充電器をご使用になられる場合

⚠警告

	充電器が次のような場合は、AC ケーブルの AC プラグをコンセントから抜いてください。 ◆ 異臭がする、煙が出た、異常に熱いなど通常と異なるとき ◆ 内部や隙間に、金属片や水などの異物が入ったとき ◆ ケースが壊れたとき 火災や感電の原因になります。販売元に修理をご依頼ください。
	充電中のバッテリパックから異臭がする、煙が出た、異常に熱いなど通常と異なる時は、AC ケーブルの AC プラグをコンセントから抜いてください。 漏液、発熱、破裂、発火のおそれがあり、火災やケガの原因になります。
	充電器の内部に水や異物を入れないでください。 火災や感電の原因になります。
	充電器は絶対に分解・改造しないでください。 火災や感電の原因になります。
	充電器には指定のバッテリパック以外は絶対に接続しないでください。 破裂、発火、発熱のおそれがあり、火災やケガの原因になります。
	充電器には専用の AC アダプタと AC ケーブル以外は使用しないでください。 発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。
	充電器の出力端子に触れたり、絶対にショートさせないでください。 火災、感電や故障の原因になります。
	充電器を水分のかかる可能性のある場所に置いたりして濡らさないでください。 火災、感電や故障の原因になります。

⚠注意

	充電器は使用時以外は、AC プラグをコンセントから抜いてください。 バッテリパックを装着していない場合でも、充電器は動作しています。
	充電器のお手入れの際は、AC プラグをコンセントから抜いてください。 感電の原因になります。
	充電器は乳幼児の手の届かないところに置いてください。 ケガなどの原因になります。

	充電器を直射日光の当たる場所、高温になる場所に置かないでください。 火災や故障の原因になります。
	充電器を湿気や埃の多い場所に置かないでください。 火災や故障の原因になります。
	充電器を濡れた手で触れないでください。 感電の原因になります。
	充電器を使用中は、その上に布などをかぶせないでください。 火災や故障の原因になります。
	充電器を振動の激しい場所、ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定なところに置かないでください。 落ちたりして、ケガや故障の原因になります。

■AC ケーブルをご使用になられる場合

⚠警告

	AC ケーブルが傷んだ場合は、AC プラグをコンセントから抜いてください。 火災、感電や故障の原因になります。
	AC プラグに、ほこりや金属物を付着させないでください。 火災や感電の原因になります。
	AC プラグの差込みが不完全な状態で使わないでください。 火災や感電の原因になります。
	AC ケーブルやプラグを破損させないでください。AC ケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを載せたり、ひっぱったり、ねじったりしないでください。 火災、感電や故障の原因になります。
	AC アダプタには、必ず専用の AC ケーブルを使用してください。 下記のように使用地域ごとに指定の AC ケーブルをご使用ください。 日本向け: 型式 CB-JP04-18A-E USA、カナダ向け: 型式 CB-US04-18A-E

⚠注意

	ACアダプタや充電器のACケーブルをコンセントから抜くときはプラグ部分を持って外してください。 ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、火災や感電の原因になります。

お取り扱い上の注意

プリンタの性能を発揮、維持するためには、次のことに注意して正しくお使いください。

■ご使用に際して

- ご使用にならないときは、電源を OFF にしてください。
- 故意に落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。
  ラバーカバー付きモデルは、各面に対する耐衝撃特性に優れた構造になっています。
  ただし、落下場所の表面状況や落下角度、あるいはプリンタの劣化状況などにより破損することがあります。
- プリンタをご使用の際は、周囲の温度や湿度に気を付けてください。ご使用に適した環境は次のとおりです。
  ・温度の範囲:−15～50℃
  ・湿度の範囲:10～85%RH(結露しないこと)
- プリンタを複写機のモータなど強い磁気を発生するもののそばに置かないでください。
- 印字中にペーパーカバーを開放しないでください。
- 印字中、または通信中にインタフェースケーブルの抜き差しはしないでください。また、印字中にインタフェースケーブルのコネクタ部には触らないでください。
- 紙排出口を塞いだり、出てきた用紙を押さえつけたりしないでください。紙詰まりの原因になります。
- 紙排出口のペーパーカッタでラベル紙をカットする場合は、台紙部を切断してください。ラベル部を切断すると、切断不良の原因になったり、ラベル紙の糊がペーパーカッタに付着し、カッタが切れなくなることがあります。
- プリンタを長時間使用しないときはバッテリパックを外してください。過剰放電となり、充電しても使用できなくなります。
- プリンタ外装が汚れているときは柔らかい布で汚れを拭き取ってください。 アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
- プリンタの各接続端子が汚れているときは、ご使用になる前に乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。汚れていると接触不良の原因になります。
- ヘッドクリーニング時は、必ず綿棒などのやわらかいもので拭いてください。
- AC アダプタは使用時以外は、AC プラグをコンセントから抜いてください。
- バッテリパックを長期保管の際には涼しい場所にて保管してください。また、満充電状態での長期保管はなるべく避けてください。寿命に悪影響を及ぼします。
- バッテリパックの端子は定期的にクリーニング(乾いた布で拭く)してください。
- バッテリパックの性能を十分に発揮するために、周囲温度およびバッテリパックの温度が0℃～40℃の状態で、充電を行ってください。
- 専用充電器の端子は、定期的にクリーニング(乾いた布で拭く)してください。

- ◆ AC ケーブルは、ノイズを発生する装置と同じ電源コンセントに接続しないでください。
- ◆ 高印字率で印字を行った場合、印字に乱れが生じたり、印字音が大きくなることがあります。これは用紙の性質上発生する現象であり、プリンタの故障ではありません。
- ◆ ロール紙は、必ず用紙幅が印字幅＋4mm 以上のものをご使用ください。
- ◆ ラダーバーコードの印字品質確保のため、低温時における印字率の高い印字は薄くなることがあります。
- ◆ Bluetooth インタフェース使用時、通信時の周囲の電波環境により、通信が正しく行われないことがあります。これは無線通信規格である Bluetooth の仕様によるものです。
- ◆ 本製品取り扱いの際には、静電気に十分ご注意ください。静電気が放電されると、USB 通信が切断されることがあります。この問題が発生した場合、本製品が接続されている USB コネクタをホスト装置より取外し、数秒時間をあけ再度接続してください。

■感熱紙のお取り扱いについて

- ◆ 乾燥した冷暗所に保存してください。
- ◆ 固いもので強くこすらないでください。
- ◆ 有機溶剤の近くに置かないでください。
- ◆ 塩化ビニールフィルム、消しゴムや粘着テープに長時間接触させないでください。
- ◆ 複写直後のジアゾおよび湿式コピーとは重ねないでください。
- ◆ 糊付けするときは化学糊を使わないでください。
- ◆ 感熱紙は必ず指定紙をお使いください。指定紙については、**「13　オプション、消耗品構成」**をご覧ください。

■表記について

次のページ以降では、**「安全上の注意」「お取り扱い上の注意」**で示した記号表記のほか、知っておいていただきたい事項を、以下のように表記して区分しています。

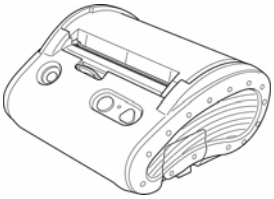
ヒント

- **知っておいていただきたい事項**

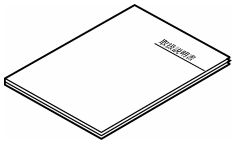
プリンタの性能や、操作する上で知っておいていただきたい事項を説明しています。

1 準　備

梱包を解きましたら、プリンタ本体と取扱説明書が入ってることを確認してください。
また各モデルごとに、プリンタ本体の機能や同梱品が異なりますのでご注意ください。

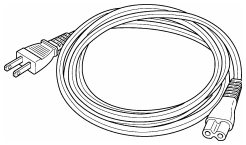


本体
(-02＊/-16＊)



取扱説明書(本書)

オプション品には、以下のものが用意されています。



AC ケーブル*1

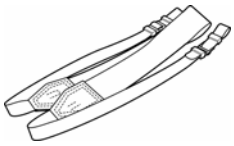
AC アダプタ

充電器*2

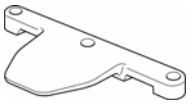
バッテリパック

インタフェースケーブル
（USB）

インタフェースケーブル
（シリアル）



ストラップ*3

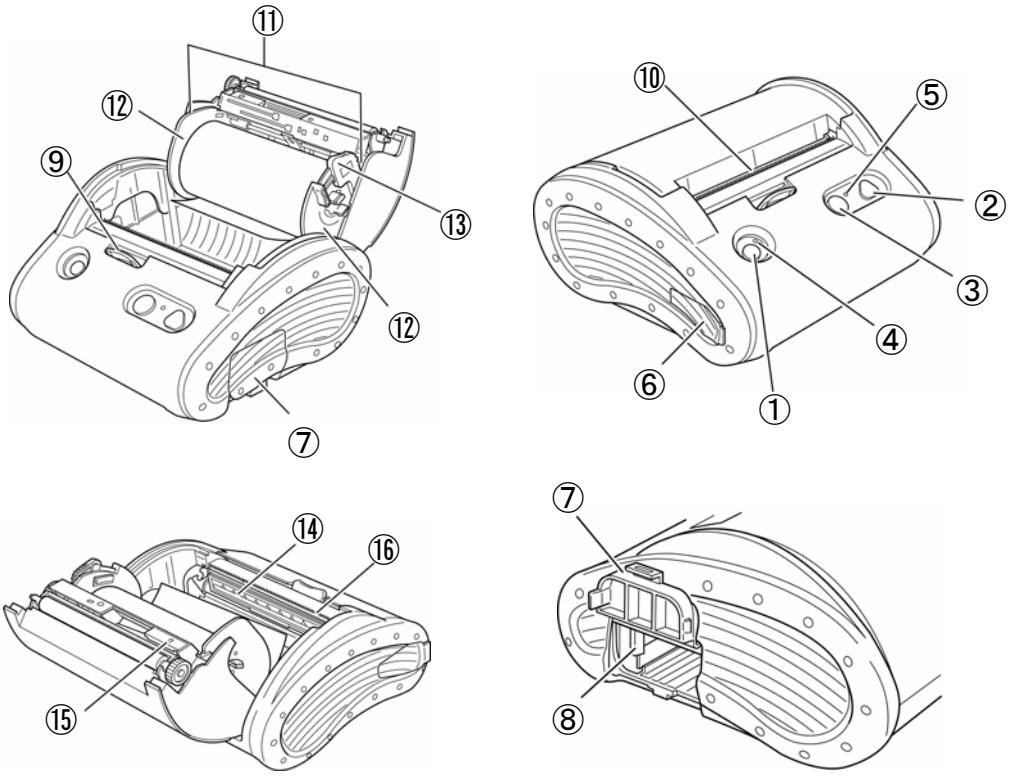


ベルトクリップ*3

*1　AC アダプタには AC ケーブルが同梱されていません。別途お求めください。
*2　充電器を使用する場合は、専用 AC アダプタ PW-D0940-W1 と指定 AC ケーブルが必要となります。別途お求めください。
*3　ベルトクリップによりベルトに装着したり、ストラップにより肩から掛けて使用することができます。

梱包箱と梱包材は、再輸送や長期保管のときに使用できますので、大切に保管してください。

2 各部の名称



①POWER ボタン

電源の「ON」「OFF」を切り替えるためのボタンです。電源を「ON」にするにはPOWER ランプが点灯するまで、「OFF」にするには消灯するまで押し続けてください。

②FEED ボタン

紙送りを行うためのボタンです。マーク紙を使用する場合、このボタンを 1 回押すと次の用紙の頭出しを行います。マーク紙を使用しない場合、このボタンを1回押すと用紙が微少送りされます。押し続けると用紙が連続して送り出されます。

③REPRINT ボタン

最後に印刷した内容を再印刷するためのボタンです。「REPRINT ランプ」が点灯しているとき再印刷が可能です。ボタン印刷が有効のときは、REPRINT ボタンは次の印刷を開始する機能になります。「REPRINT ランプ」が 3 回点滅(速い点滅)のとき REPRINT ボタンにて「保留」を解除し、次の印刷を可能にできます。

④POWER ランプ

電源を「ON」にすると点灯します。詳しくは21 ページの「POWER ランプ表示」をご覧ください。

⑤REPRINT ランプ

最後に印刷した内容が再印刷可能な場合に点灯します。

⑥インタフェースカバー

インタフェースケーブル、ならびに AC アダプタを接続します。ゴム製のカバーをめくってからコネクタを差し込みます。

⑦バッテリカバー

バッテリパックを装着・固定するためのカバーです。ゴム製のカバーをめくってからバッテリパックを着脱します。

⑧バッテリリリースレバー

バッテリパックをプリンタ本体から取り外すためのレバーです。

⑨ペーパーカバーオープンレバー

用紙を装着する際に、ペーパーカバーを開けるためのレバーです。

⑩印刷紙排出口

用紙が排出されます。ペーパーカッタが取り付けられています。

⑪紙ガイドユニット

用紙を装着するためのものです。様々な幅の用紙を装着することができます。

⑫紙ガイド

用紙幅に合わせて、⑬のレバーでロックを解除し、左右の紙ガイド幅を可変します。紙管アダプタを着脱することによって、数種類の紙管径に対応することができます。

⑬紙ガイドロックレバー

左右の紙ガイドの位置を変えるときにロックを解除するためのレバーです。

⑭サーマルヘッド

用紙に文字を記録します。印字直後は高温になりますので、ご注意ください。

⑮ペーパーセンサー

用紙の有無やタイミングマーク検出用のセンサーです。

⑯ペーパーカッター

用紙を切ることができます。

「POWERランプ表示」

POWER ランプは、緑、赤、橙の 3 色で表示します。

ランプ表示内容	POWER ランプ
電源「OFF」	消灯
電源「ON」 (印字待機時)	緑色点灯
スタンバイ状態	暗い緑色点灯
充電中	橙色点灯
電圧異常	赤色点灯
紙なし、ペーパーカバーオープン	緑色点滅
バッテリ消耗(要充電)	橙色点滅
エラー	赤色点滅

「REPRINT ランプ表示」

REPRINT ランプは、緑の 1 色で表示します。

ランプ表示内容	REPRINT ランプ
再印刷不可・ボタン印刷無効	消灯
再印刷可能	緑色点灯
ボタン印刷有効・非保留中	緑色 1 回点滅(遅い点滅)
ボタン印刷有効・保留中	緑色 3 回点滅(速い点滅)

プリンタには 1 枚印刷する毎に一時的に次の印刷が保留される、「ボタン印刷」の機能があります。ボタン印刷が有効に設定されている場合、1 枚印刷する毎に「保留中」の状態になります。この場合、REPRINT ボタンにて保留を解除して、印刷を再開することができます。

3　電源の接続方法

プリンタの電源供給はバッテリパックを使う方法と、AC アダプタを使う方法があります。

■バッテリパックの着脱方法

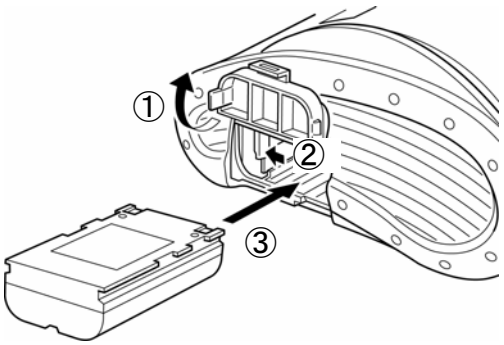
充電されたバッテリパックを用意します。充電の方法は「9　バッテリパックを充電する」をご覧ください。

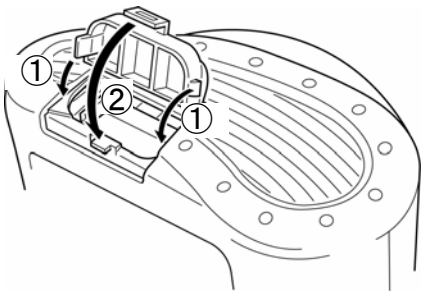
バッテリパックの取り付けかた

バッテリカバーをめくり、バッテリパックの電極側を上向き先端にして挿入します。バッテリリリースレバーによってバッテリパックがロックされるまで押し込み、バッテリカバーを装着・固定します。

バッテリカバーには、左右部につめ、下部にひっかけがあり、プリンタ本体にはそのひっかけ用の凸部があります。

バッテリカバーの左右部を押さえるようにして左右部のつめを押し込んだ後、そのひっかけをプリンタ本体の凸部にひっかけます。

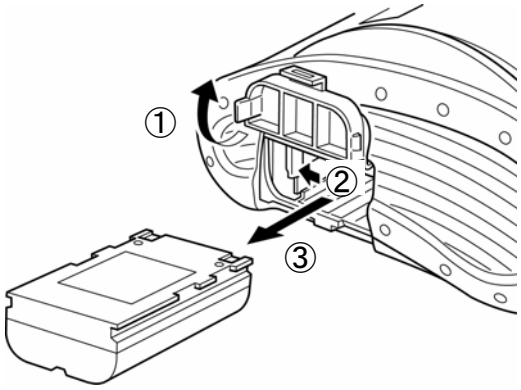




バッテリパックの取り外しかた

プリンタの電源を「OFF」にしてください。

バッテリカバー下部のひっかけをプリンタ本体の凸部からはずし、バッテリカバーをめくります。バッテリリリースレバーを矢印の方向にはずすと、バネによってバッテリパックが押し出されます。



ヒント

- バッテリパックの使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリの寿命です。新しいバッテリパックをお買い求めください。
- 低温でバッテリパックを使用している場合、プリンタを使用できる時間が短くなることがあります。
- バッテリは使用しなくても経時劣化することがあります。
- オートパワーオフ機能を有効にすると、所定の時間操作されなかったとき、自動的にプリンタの電源が「OFF」になり、バッテリの無駄な消耗を防げます。
- 不要になった二次電池(Li-ion)は廃棄せずに、最寄のリサイクル協力店にお持ちください。

■AC アダプタの接続（オプション品）

① AC アダプタに AC ケーブルを接続してください。

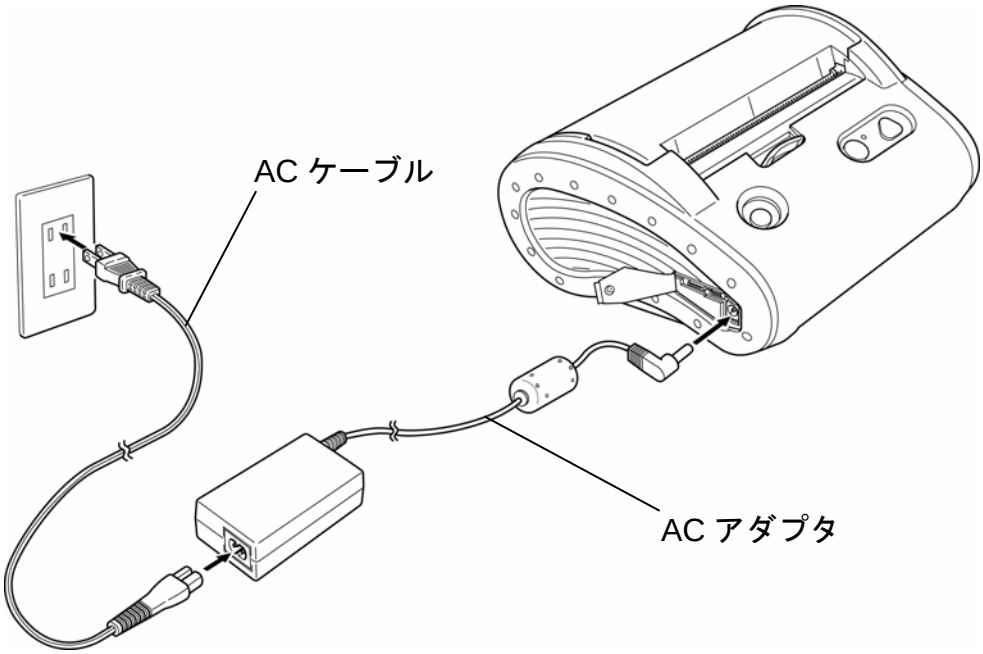
② インタフェースカバーをめくり、プリンタの電源コネクタに AC アダプタの DC ジャックを差し込んでください。

③ AC ケーブルの AC プラグを電源コンセントに差し込んでください。

④ 自動的にプリンタの電源は「ON」します。

ヒント

・ ACアダプタは使用中若干熱を持つことがありますが、異常ではありません。



4　用紙のセット方法

本プリンタは、感熱普通紙と感熱ラベル紙を使用することができます。使用する用紙によってプリンタの機能設定が異なりますので、詳細は**「7　機能設定」**をご覧ください。用紙形状はロールタイプのみ使用可能です。

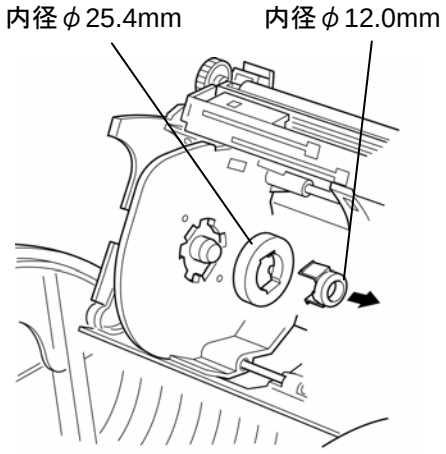
■紙管アダプタの着脱方法(各モデル共通)

本プリンタは、内径φ8mm、内径φ12.0mm と内径φ25.4mm のロール紙を使用することができます。使用するロール紙の内径に合わせて紙管アダプタを着脱してください。

紙管アダプタは 2 種類用意されており、工場出荷時には両方の紙管アダプダがすでに装着された状態になっています。

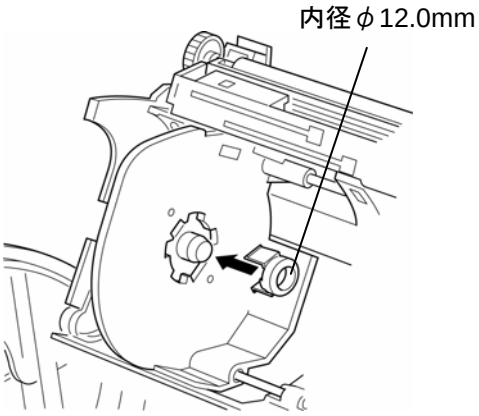
① 内径φ8mm のロール紙を使用する場合

内径φ12.0mm と内径φ25.4mm の両方の紙管アダプダをはずします。
紙ガイド外側のつめを内側に押しはずします。これにより 2 種類の紙管アダプタをはずすことができます。



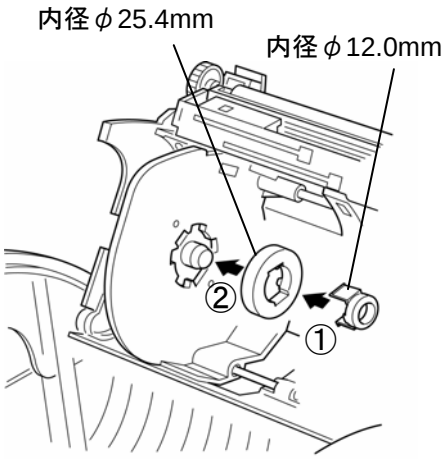
② 内径φ12.0mm のロール紙を使用する場合

内径φ12.0mm 用紙管アダプダのみを装着します。
内径φ12.0mm 用紙管アダプタにはつめがあり、これにより紙ガイドに固定します。つめは最後まで入るようにしっかり押し込んでください。



③　内径φ25.4mm のロール紙を使用する場合

内径φ12.0mm と内径φ25.4mm の両方の紙管アダプダを装着します。
2 つの紙管アダプタを組み合わせたのち、上記②と同様に紙ガイドに固定します。



■用紙のセット方法

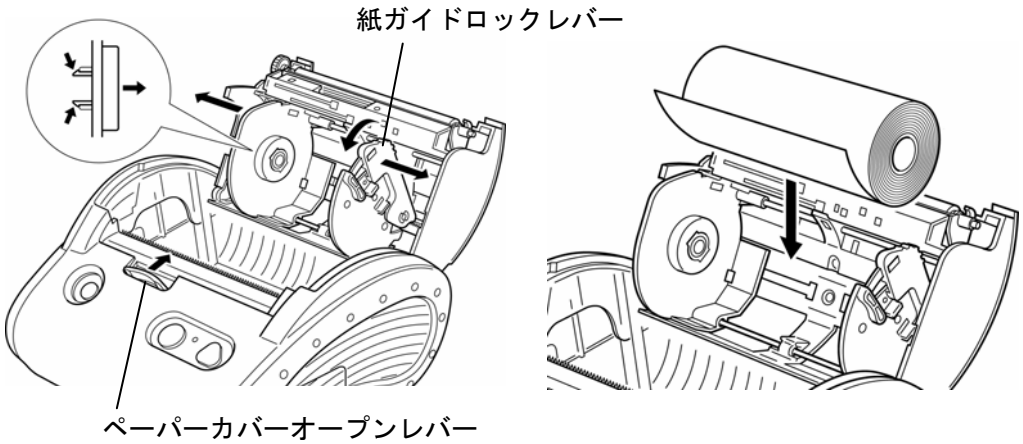
手順 1:紙ガイドユニットへの用紙セット

① ペーパーカバーオープンレバーを矢印の方向に押し、ペーパーカバーを開けます。

② 紙ガイドロックレバーを矢印の方向に押しながら、紙ガイド間隔を充分に広げます。

③ 紙ガイド中心の凸部(紙管アダプタ部)がロール紙の紙管に収まるように位置を合わせ、紙ガイドがロール紙に接触するぐらいまで紙ガイドを狭めます。

④ 紙ガイドロックレバーを放すと、紙ガイドはロックされます。

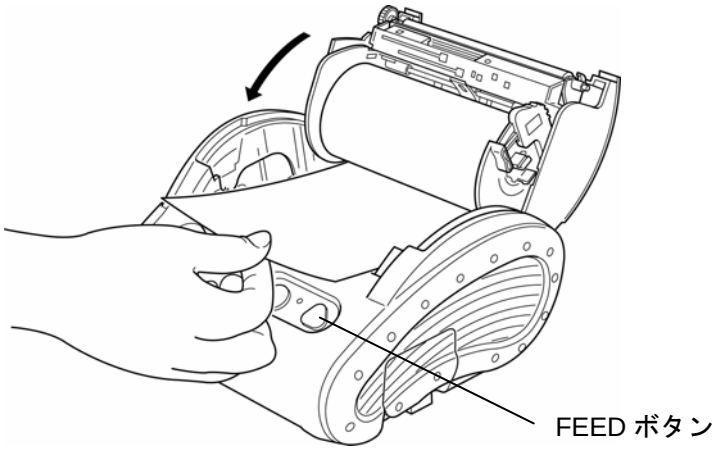


手順 2:ペーパーカバーを閉じる

① ペーパーカバーを閉じたとき、用紙先端が印刷紙排出口から出るように用紙を引き出します。

② 用紙が斜めになったり、左右にずれないように、用紙を手で押さえながらペーパーカバーを閉じます。その際浮きのないようにしっかり閉めてください。

③ マーク紙を使用する場合は、FEED ボタンを 1 回押し用紙の頭出しを行ってください。



ヒント

- マーク紙を使用する場合とそうでない場合では、プリンタの機能設定が異なります。設定の詳細は「7　機能設定」をご覧ください。
- 本プリンタは、ロール紙外径が最大58mmのものを使用することができます。ただし、ロール紙内径と紙管アダプタの寸法が異なる場合、ロール紙がガタついてしまうため、その分ロール紙外径を小さくする必要があります。詳しくは、技術説明書をご覧ください。
- 異なる幅の用紙を使用する場合は、プラテンローラに付着した紙粉を取り除いてからご使用ください。プラテンローラのクリーニング方法は「10 ヘッド／プラテンローラのメンテナンス」をご覧ください。
- 異なる幅の用紙を長期間使用した場合、磨耗などにより印字品質が低下する場合があります。
- ラベルを本体にセットしたままで長時間放置すると、周辺環境の変化を受け、ラベルの表面がヘッドに貼り付きラベルを搬送できない場合があります。この場合には、一度、ペーパーカバーを開いて、ヘッドとラベルの密着状態を解除し、再度ペーパーカバーを閉じて、フィードでラベルの位置だし（頭出し）を行ってからお使いください。

注　意

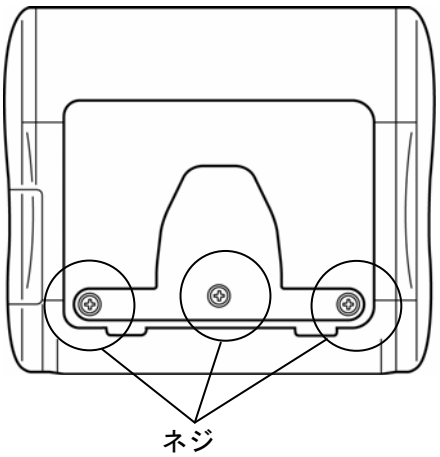
- プラテンローラ及び搬送ローラーに付いているギアには触れないようにしてください。印字品質が低下したり、故障の原因になる場合があります。

5　ベルトクリップ／ストラップの着脱方法

ベルトクリップにはストラップ装着するための溝があり、これによりストラップを装着します。したがって、ストラップを使用する際には、併せてベルトクリップを装着する必要があります。

■ベルトクリップの着脱方法

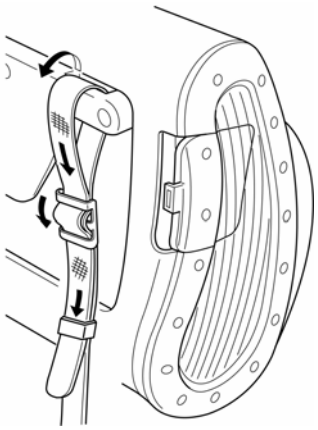
ネジ(3 箇所)により固定します。ベルトクリップ付きモデルは、工場出荷時に装着されています。



■ストラップの着脱方法

① ベルトクリップの左右にある溝にストラップを通します。

② 図のようにストラップを装着してください。



6　テスト印字

プリンタに用紙をセットし終えたらテスト印字を行います。テスト印字では、プリンタの機能設定やテスト用の文字列などが印字されます。

① プリンタに用紙がセットされ、電源が OFF になっていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は**「4　用紙のセット方法」**に従って用紙をセットした後、プリンタの電源を「OFF」にしてください。

② プリンタの POWER ボタンと FEED ボタンを同時に押し、POWER ランプが点灯したら、POWER ボタン、FEED ボタンの順にボタンから指を離してください。

③ テスト印字が開始されます。

```
Mobile Label Printer
MPU-L465-*** [ Ver.*.** ]
   **.***.****

Copyright (C): SII
.
.　（以下、省略）
.
```

④ テスト印字が終了すると、プリンタは印字可能状態になります。

7　機能設定

本プリンタは、使用する条件や用途に合わせて各種の機能設定を行うことができます。

設定内容はプリンタ内部のソフトウェア DIP スイッチ（不揮発性メモリ）に保存されており、ボタン操作またはコマンド入力により設定することができます。

本書では、ボタン操作による設定方法について説明します。

ヒント

- **コマンド入力による機能設定については技術説明書をご覧ください。**

■機能設定モード

ボタン操作による機能設定は、プリンタを機能設定モードにして行います。

プリンタを機能設定モードにするには、以下の操作を行います。

ヒント

- **機能設定モード中に何らかのエラーが発生した場合、POWERランプが点滅した後、電源OFF状態に戻ります。**

① プリンタに用紙がセットされ、電源が OFF になっていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は**「4　用紙のセット方法」**に従って用紙をセットした後、プリンタの電源を OFF にしてください。

② プリンタの POWER ボタンと REPRINT ボタンを同時に押し、POWER ランプが点灯したら、POWER ボタン、REPRINT ボタンの順にボタンから指を離してください。

③ 下記のメッセージが印字されたら、FEED ボタンを押してください。

```
Select Function
Setting Mode: FEED SW
HEX Dump Mode: REPRINT SW
```

ヒント

- **このときREPRINTボタンを押すと、HEX Dumpモードになります。HEX Dumpモードはプリンタの通信状態を確認するためのモードです。詳細は技術説明書をご覧ください。**

④　下記のメッセージが印字されたら、FEED ボタンを押してください。

```
[SETTING MODE]
Yes: FEED / No: REPRINT
```

ヒント

- **このときREPRINTボタンを押すと機能設定モードを終了し、プリンタは電源「OFF」状態に戻ります。**

以上の操作でプリンタは機能設定モードとなり、ボタン操作の待ち受け状態となります。

■設定内容の変更

機能設定モードでは、設定内容の初期化または設定内容の変更を行います。設定を工場出荷時の状態に戻す場合は(1)の操作を、設定を変更する場合は(2)の操作を行います。

(1) ソフトウェアDIPスイッチの設定初期化

①　機能設定モードに入り、下記のメッセージが印字されている状態で FEED ボタンを押してください。

```
Load Default Setting?
Yes: FEED / No: REPRINT
```

②　下記のメッセージが印字されたら、電源「OFF」状態に戻ります。

設定は工場出荷時の状態となり、初期化はこれで終了です。

```
Default Setting Saved.
Setting Mode Finished.
```

(2) ソフトウェアDIPスイッチの設定変更

機能設定モードに入り、下記のメッセージが印字されている状態で REPRINT ボタンを押してください。

```
Load Default Setting?
Yes: FEED / No: REPRINT
```

ヒント

- **機能設定モードでは、FEEDボタンまたはREPRINTボタンのどちらかが押されると、POWERランプが1回点滅します。点滅を確認しながら確実に操作してください。**

操作 1:通信選択

下記のメッセージが印字されている状態で FEED ボタンを押すと、通信選択へ移ります。REPRINT ボタンを押すと、内容を変更せずに、用紙選択に移ります。

```
DIP Switch setting mode.

I/F= ******** Change Setting?

Yes: FEED / No: REPRINT
```

① 下記のメッセージが印字されている状態で最上位ビット(bit7)から最下位ビット(bit0)の順に設定します。

```
Input 8 bits.

1: FEED / 0: REPRINT
```

「1」を設定する場合:FEED ボタンを押します。

「0」を設定する場合:REPRINT ボタン押します。

たとえば、10101110 を設定するときは、

FEED – REPRINT – FEED – REPRINT – FEED – FEED – FEED - REPRINT と続けてボタンを押します。

② 合計 8 回（8 ビット分）ボタンを押すと、下記のように印字されます。

```
I/F= ********”  Save Setting?

Yes: FEED / No: REPRINT
```

ここで、FEED ボタンを押すと、下記のように印字され、設定が保存されます。

```
I/F Setting = ******** Saved.
```

FEED ボタンではなく、REPRINT ボタンを押すと、下記のように印字され、設定は変更されません。

```
I/F Setting Not Changed.
```

ヒント

- **印字中の“********”は、設定中のDIPスイッチの設定内容です。左側が最上位ビット (bit7)、右側が最下位ビット (bit0) を示しています。**

操作 2:用紙選択

下記のメッセージが印字されている状態で FEED ボタンを押すと、**用紙選択**へ移ります。REPRINT ボタンを押すと、内容を変更せずに、機能設定モード終了選択に移ります。

```
DIP Switch setting mode.

Paper= ******** Change Setting?

Yes: FEED / No: REPRINT
```

① 下記のメッセージが印字されている状態で最上位ビット(bit7)から最下位ビット(bit0)の順に設定します。

```
Input 8 bits.

1: FEED / 0: REPRINT
```

「1」を設定する場合:FEED ボタンを押します。

「0」を設定する場合:REPRINT ボタン押します。

たとえば、10101110 を設定するときは、

FEED – REPRINT – FEED – REPRINT – FEED – FEED – FEED - REPRINT と続けてボタンを押します。

② 合計 8 回（8 ビット分）ボタンを押すと、下記のように印字されます。

```
Paper= ********” Save Setting?

Yes: FEED / No: REPRINT
```

ここで、FEED ボタンを押すと、下記のように印字され、設定が保存されます。

```
Paper Setting = ******** Saved.
```

FEED ボタンではなく、REPRINT ボタンを押すと、下記のように印字され、設定は変更されません。

```
Paper Setting Not Changed.
```

ヒント

- **印字中の“********”は、設定中のDIPスイッチの設定内容です。左側が最上位ビット (bit7)、右側が最下位ビット (bit0) を示しています。**

操作 3:機能設定モード終了選択

下記のメッセージが印字されている状態で FEED ボタンを押すと、**操作 1** に戻り、通信設定からやり直します。

DIP Switch setting mode.

Continue: FEED / Quit: REPRINT

REPRINT ボタンを押すと、下記のように印字され、機能設定モードを終了して電源「OFF」状態になります。これで機能設定は完了です。

Setting Mode Finished.

ヒント

- 機能設定終了後、テスト印字を行うと設定内容を確認することができます。

■ソフトウェア DIP スイッチの設定内容一覧

[ ] は出荷時の設定です。

通信選択DIPスイッチ

位置	機能	設定内容							
Bit7	未使用								
Bit6	Serial Parity (パリティ)	1	Even (偶数)			0	Odd (奇数)		
Bit5		1	None (なし)			0	あり		
Bit4	Serial Flow Control (フロー制御)	1	Busy			0	Xon/Xoff		
Bit3	Serial Baudrate (ボーレート)	1	115200	1	57600	0	38400	0	19200
Bit2		1		0		1		0	
Bit1	Interface (通信選択)	1	Auto	1	Bluetooth	0	USB	0	Serial
Bit0		1		0		1		0	

ヒント

- 通信選択を「Auto」に設定した場合、本プリンタは接続されている通信方式を自動的に認識、選択します。使用するホスト機器によっては自動認識ができない場合があります。その場合は使用する通信方式を設定してください。
- 通信選択を「Auto」に設定した場合、Serial通信はホスト機器のDSR信号により自動認識されます。したがって、DSR信号を使用していないホスト機器との接続ではSerial通信は自動認識されません。通信選択を「Serial」に設定してください。

用紙選択DIPスイッチ

位置	機能	設定内容																
Bit7	Paper Mark (マーク検出)	1	Non Mark (しない)							0	Mark (する)							
Bit6	Print Speed (印刷速度)	1	High (高速)							0	Low (高品質)							
Bit5	Print Density (印刷濃度)	1	No	1	No	1	115 %	1	110 %	0	100 %	0	90 %	0	80 %	0	70 %	
Bit4		1		1		0		0		1		1		0		0		
Bit3		1		0		1		0		1		0		1		0		
Bit2	Paper (紙の種類)	下表参照																
Bit1																		
Bit0																		

紙の種類

Bit2	Bit1	Bit0	紙の種類
1	1	1	設定禁止
1	1	0	設定禁止
1	0	1	設定禁止
1	0	0	設定禁止
0	1	1	TP-L465CAH
0	1	0	DTH9500(KL470-ST95)
0	0	1	TL-L465NS/TL-L465NP
0	0	0	TP-L465CXH

8　ホスト装置と接続する

本プリンタは、インタフェースケーブルによるシリアル通信ならびに USB 通信、加えて Bluetooth 搭載モデルは、Bluetooth（Ver.2.0+EDR、Serial port profile）に準拠した無線通信を行うことができます。

使用する通信方式によってプリンタの機能設定が異なりますので、詳細は**「7　機能設定」**をご覧ください。

シリアル通信あるいはUSB通信を行う場合は、別途インタフェースケーブルが必要になります。ホスト装置にあったインタフェースケーブルを用意してください。インタフェース仕様の詳細は**「12　仕　様」**をご覧ください。

通信速度は、ソフトウェアの処理や印字内容によって、遅くなる場合があります。

注：Bluetooth 非対応モデル（-02＊）は Bluetooth による無線通信を行うことはできません。

■インタフェースケーブルによるシリアル／USB 通信

① プリンタの電源スイッチを「OFF」にします。

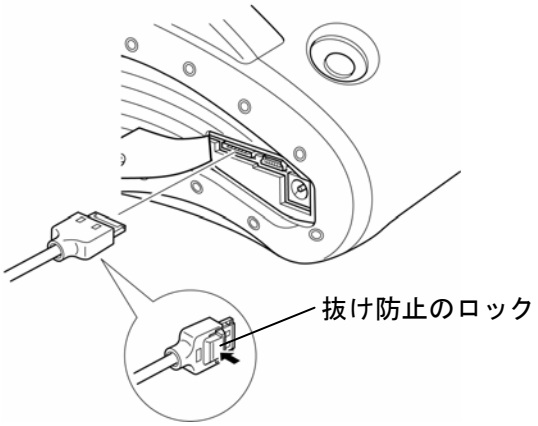
② 使用する通信方式を設定します。詳細は**「7　機能設定」**をご覧ください。

③ インタフェースカバーをめくり、インタフェースケーブルを接続してください。シリアル通信用インタフェースケーブルのコネクタには抜け防止のロックがあります。ロックされるまでコネクタを押し込んでください。

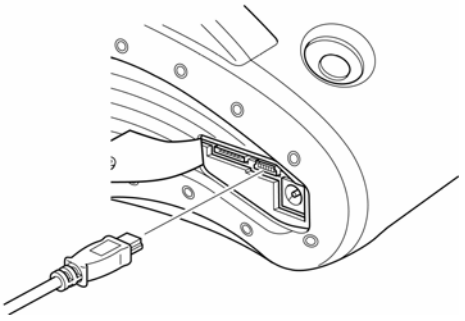
④ プリンタの電源スイッチを「ON」にして、ホスト装置からプリンタにデータを送ってください。

⑤ データが正しく印字されていることを確認してください。

⑥ シリアル通信用インタフェースケーブルのコネクタには抜け防止のロックがあります。ケーブルを外すときは、コネクタのツメを押さえながら引き抜いてください。
無理に引き抜くとコネクタを破損する場合があります。



シリアル通信用インタフェースケーブル



USB ケーブル

■Bluetooth による無線通信（Bluetooth 搭載モデル）

① 本プリンタの電源スイッチを「OFF」にします。

② 使用する通信方式を設定します。詳細は**「7　機能設定」**をご覧ください。

③ プリンタの電源スイッチを「ON」にして、ホスト装置からプリンタにデータを送ってください。

④ データが正しく印字されていることを確認してください。

ヒント

- **通信距離は約10mです。ただし、周辺の電波状態や障害物などにより異なる場合があります。**

⚠警　告

◆医療用機器や電子機器に影響を及ぼす場合があります。各機器メーカーあるいは販売元に電波による影響についてご確認ください。
◆医療機関内で使用する場合は、その指示に従ってください。
◆安全上、航空機内では、電源をお切りください。
◆その他、使用が禁止されている地域や区域では使用しないでください。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備を内蔵しており、その無線設備は技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許の必要はありません。

ただし、以下の項目を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本製品に内蔵している無線設備を分解・改造する
- 本製品に内蔵している無線設備に印刷された証明記号、番号の改竄(かいざん)をする及びラベルをはがす

9 バッテリパックを充電する

お買い上げ直後や長時間ご使用にならなかったときは、バッテリが消耗していますので、ご使用になる前に充電してください。

このバッテリパックは充電の前に使い切ったり放電したりする必要はありません。

本プリンタは、AC アダプタと接続することによりプリンタ本体でバッテリパックの充電ができます。また、専用の充電器でも充電することができます。

■プリンタ本体による充電

プリンタ本体でバッテリパックを充電するには、別途 AC アダプタと AC ケーブルが必要になります。

① プリンタの電源が「OFF」になっていることを確認してください。

② プリンタにバッテリパックを装着してください。

③ AC アダプタとプリンタを接続してください。

④ AC ケーブルを AC アダプタに接続し、AC ケーブルの AC プラグをコンセントに差し込んでください。

⑤ 自動的にプリンタの電源は「ON」し、充電が開始されます。

⑥ 充電している間は POWER ランプが橙色点灯し続けます。充電が終了すると POWER ランプが緑色点灯に切り替わります。充電時間は、周囲の温度やバッテリパックの状態により変わります。

ヒント

- **プリンタ本体による充電を行なっている間でも、印字やデータの受信は可能です。**
- **充電を途中でやめたいときは電源を「OFF」してください。再度充電するときはそのまま電源を「ON」してください。**

■専用充電器による充電（オプション品）

専用充電器

下記の手順で充電を行ってください。

① AC アダプタに AC ケーブルを接続してください。

② AC アダプタの DC ジャックを充電器に差し込んでください。

③ AC ケーブルの AC プラグを電源コンセントに差し込んでください。

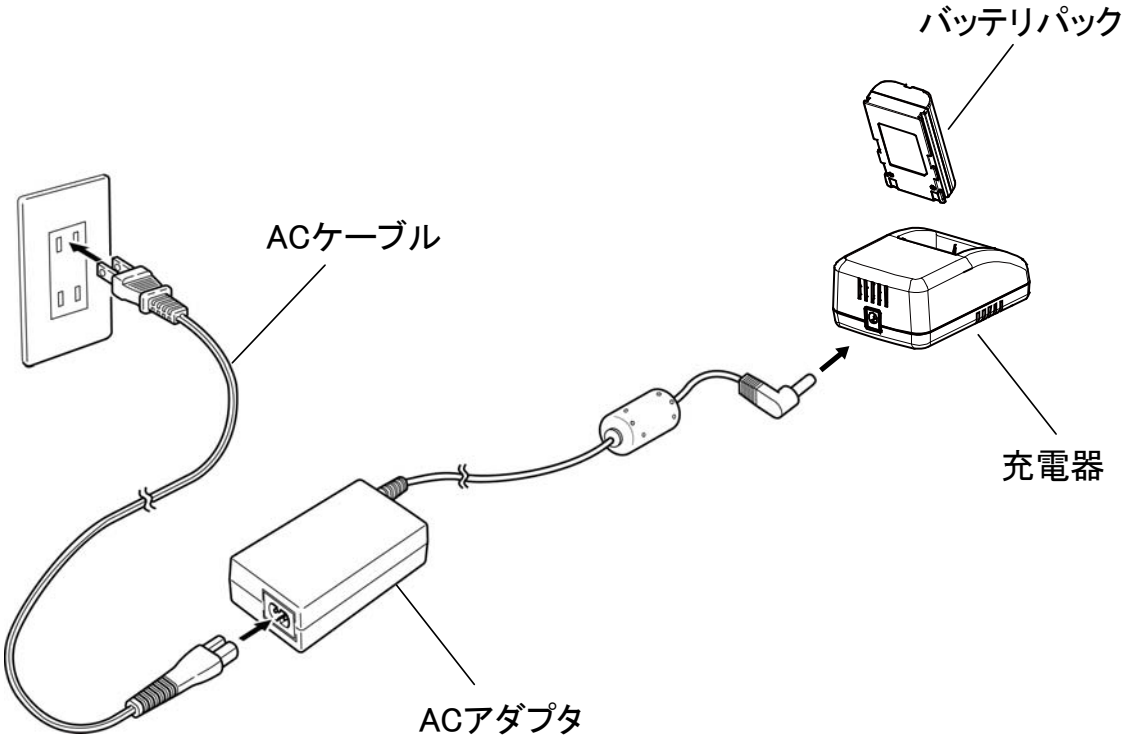
④ 充電器にバッテリパックを装着します。バッテリパックの電極と充電器の金属端子が合うように装着します。

⑤ 充電器の CHARGE ランプが赤色点灯し、充電が始まります。

⑥「充電完了」になると、CHARGE ランプが緑色点灯に変わります。

⑦ 充電が終わりましたらバッテリパックを取り外します。

⑧ AC ケーブルの AC プラグをコンセントから抜いてください。



CHARGE ランプ(充電状態の表示)

電池の状態	CHARGE ランプ
未接続	消灯
充電中	赤色点灯
充電完了	緑色点灯
異常	赤緑点滅

ヒント

- 充電の際、数分間放置してもCHARGEランプが点灯しない場合は、バッテリパックの故障ですので、そのバッテリパックの使用を中止してください。
- バッテリパックの異常を検出した場合、CHARGEランプ点滅します。バッテリパックの寿命などが考えられますので、新しいバッテリパックと交換してください。
- 充電器、バッテリパックは充電中に若干熱を持つことがありますが、異常ではありません。

10 ヘッド／プラテンローラのメンテナンス

紙粉が堆積したときなどは、サーマルヘッドやプラテンローラのクリーニングを行うと、プリンタの印字品質を長期間に渡って維持することができます。

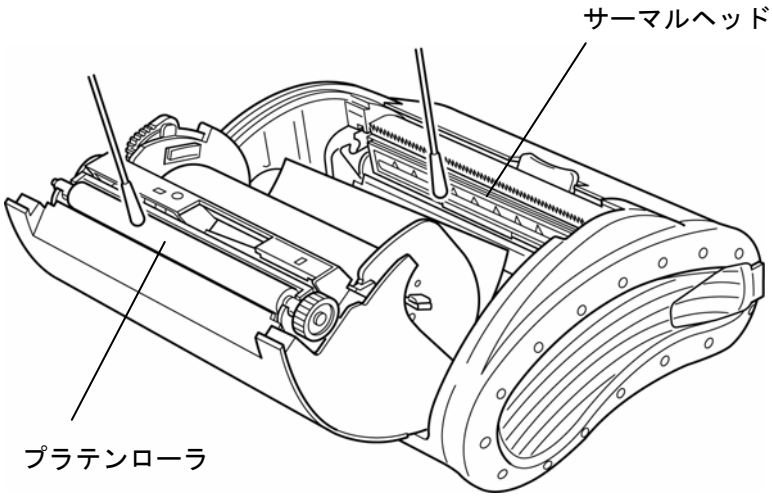
■サーマルヘッド／プラテンローラのクリーニング

① プリンタの電源を「OFF」にしてください。

② ペーパーカバーを開けてください。

③ 少量のエチルアルコールで湿らせた綿棒で、サーマルヘッドやプラテンローラの汚れを拭き取ってください。

④ サーマルヘッドとプラテンローラに付着したエチルアルコールが完全に揮発してからペーパーカバーを閉じてください。



注　意

プラテンローラに付いているギアには触れないようにしてください。印字品質が低下したり、故障の原因になる場合があります。

11 困ったときに

修理を依頼される前に次のことを確認してください。

■電源が入らない

- 当社指定の AC アダプタまたはバッテリパックを使用していますか。
- AC ケーブルと AC アダプタは正しく接続されていますか。
- AC アダプタとプリンタは正しく接続されていますか。
- バッテリパックは十分に充電されていますか。

■何も印字されない

- インタフェースケーブルは正しく接続されていますか。
- インタフェースケーブルの仕様は合っていますか。
- プリンタとホスト装置との通信条件は合っていますか。
- 指定紙を使用していますか。また、紙の表裏は正しいですか。

■POWER ランプが点滅したとき

- 17 ページの「ランプ表示」をご覧ください。

■バッテリパックが装着できない

- バッテリパックの向きは正しいですか。
- 専用のバッテリパックを使用していますか。

■バッテリを充電してもすぐに使えなくなってしまう

- 充電方法は正しいですか。
- 正しく充電しているのに容量が回復しないときは、バッテリパックの寿命です。新しいバッテリパックと交換してください。

12 仕　様

■プリンタ仕様

項目	仕様
印字方式	感熱方式
印字速度	最高85mm/秒
総ドット数	1280ドット
有効印字幅	最大108.4mm
ドット密度	300dpi
紙送りピッチ	0.085mm
用紙形状	ロール紙
用紙幅	70～115mm
用紙外径	最大58mm
用紙内径	8mm, 12.0mm, 25.4mm
インタフェース	USB Ver.1.1 RS-232C Bluetooth Ver.2.0+EDR SPP *1
動作温度	–15℃～50℃
動作湿度	10%～85%RH 結露しないこと
文字の大きさ (縦×横)	半角:36×18 ／ 24×12ドット 全角:36×36 ／ 24×24ドット
文字種類	カタカナ文字 拡張グラフィック文字 ダウンロード文字 第一、二水準漢字、外字 オプションフォント
バーコード種類	UPC A/E, EAN 8/13, ITF, CODE39, CODABAR, CODE93, CODE128, EAN128
二次元コード種類	PDF417, QRCode, MAXICode, DATAMATRIX
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	168×155×87mm *2
質量	約760g *3

*1 Bluetooth 搭載モデルのみ
*2 突起部を除く、ラバーカバーを含む
*3 バッテリ、ロール紙、ベルトクリップを除く、ラバーカバーを含む

■インタフェース仕様

シリアルインタフェース仕様

（RS-232C 準拠）

項目	仕様
同期方式	非同期方式
ボーレート	19200, 38400, 57600, 115200bps
データ長	8ビット
パリティ	なし、偶数、奇数
フロー制御	Busy, Xon/Xoff

★コネクタと信号

3260-8S3(01) ヒロセ電機（相当品）

ﾋﾟﾝNo.	信号名	I/O
1	N.C.	―
2	TxD	O
3	RxD	I
4	DSR	I
5	GND	―
6	DTR	O
7	CTS	I
8	RTS	O

USBインタフェース仕様

項目	仕様
バージョン	Ver. 1.1準拠
プリンタデータ転送モード	バルク転送（12Mbps）

★コネクタと信号

Mini B タイプ

ﾋﾟﾝNo.	信号名
1	Vbus
2	D–
3	D+
4	NC
5	GND

Bluetooth インタフェース仕様

項目	仕様
バージョン	Ver.2.0+EDR準拠
送信出力	クラス2
接続形態	ピア・ツー・ピア
プロファイル	シリアルポート

■バッテリパック(BP-L0725-A1)仕様

（オプション製品）

項目	仕様
使用電池	リチウムイオン
定格電圧	DC7.4V
公称容量	2500mAh
動作温度	–15℃～50℃（放電時） 0℃～40℃（充電時）
質量	約110g

■AC アダプタ仕様

（オプション製品）

項目	仕様
型名	PW-0904-W2-E
入力電圧	AC100-240V、50/60Hz
定格出力	DC9.0V、4A
動作温度	0℃～40℃
動作湿度	20%～85%RH 結露しないこと
外形寸法（幅×奥行×高さ）	111×52×32mm*1
質量	約280 g*1

*1 AC ケーブルを除く

■専用充電器(PWC-L07C1-W1)仕様

（オプション製品）

項目	仕様
入力電圧	DC9.0V
充電指定電池	BP-L0725-A1 BP-L0720-A1-E
充電数	1
動作温度	0℃～40℃
動作湿度	20%～85%RH 結露しないこと
外形寸法（幅×奥行×高さ）	70×100×40mm
質量	約120g

13 オプション、消耗品構成

■オプション

名称	型名
バッテリパック	BP-L0725-A1 BP-L0720-A1-E
ACアダプタ	PW-0904-W2-E
専用充電器	PWC-L07C1-W1*1
ACケーブル*2 日本向け: USA、カナダ向け:	 CB-JP04-18A-E CB-US04-18A-E
ベルトクリップ	BLT-A01-1-E
ストラップ	STR-A02-1-E
シリアルケーブル	IFC-S01-1-E
USBケーブル	IFC-U01-1-E

*1: PWC-L07C1-W1 を使用する場合は、専用 AC アダプタ PW-D0940-W1 と指定 AC ケーブルが必要です。詳細は弊社営業までご確認ください。

*2: 電源コンセントの形状は国によって異なりますので、事前にご確認ください。

■感熱紙

名称	型名
普通感熱紙	TP-L465CXH
普通感熱紙	TP-L465CAH
感熱ラベル紙	TL-L465NS
感熱ラベル紙	TL-L465NP

指定紙以外の用紙をご使用になった場合、印字品質やサーマルヘッドの寿命を保証できない場合があります。

SII

セイコーインスツル株式会社

プリントシステム事業部

千葉県千葉市美浜区中瀬 1-8 〒261-8507

電話番号 : 043-211-1212（直通） FAX: 043-211-8037

ホームページ : http://www.sii.co.jp/sps/

大阪支店

大阪府豊中市新千里西町 1-1-4 千里中央ツインビル別館

〒560-0083

電話番号 : 06-6871-9483（直通） FAX: 06-6871-9474

◎この取扱説明書の内容は、製品の改良に伴い、予告なしに変更することがあります。